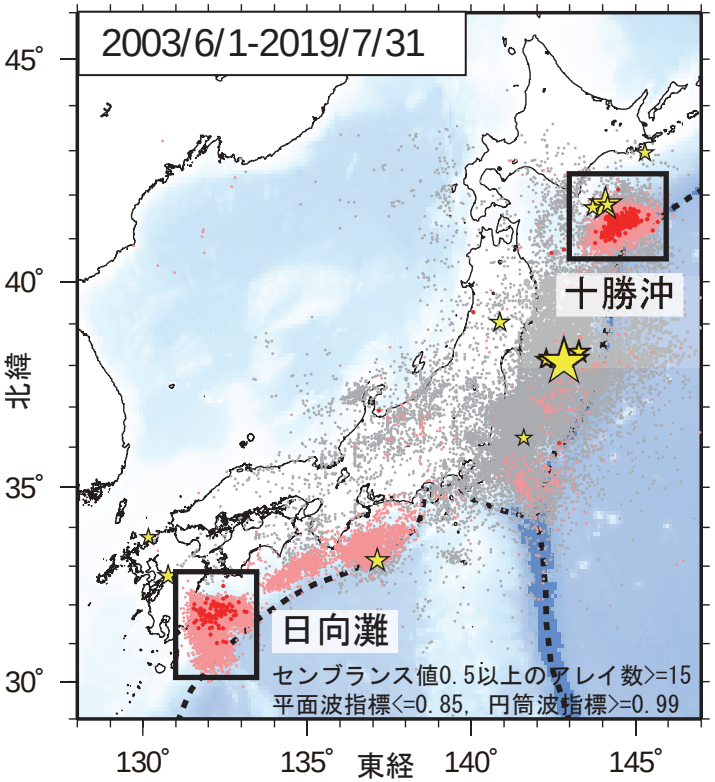
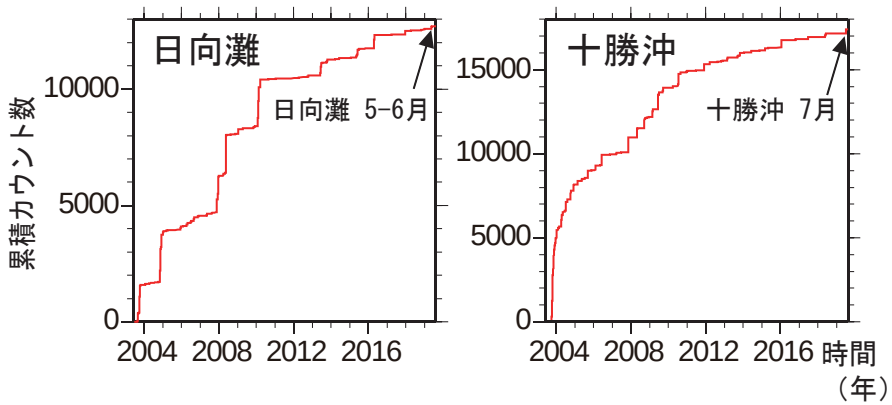
日本周辺における浅部超低周波地震活動（2019年5月～7月）

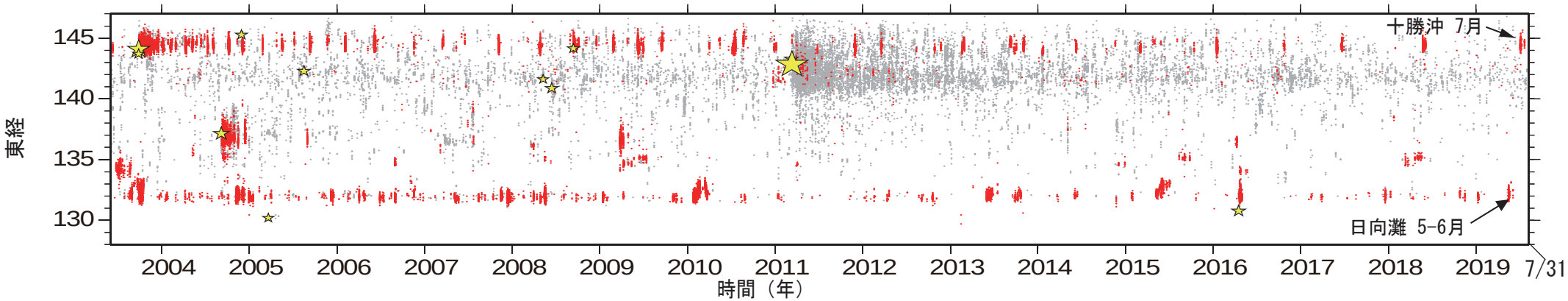


●日向灘およびその周辺域で5月中旬から6月上旬に超低周波地震活動
●十勝沖では7月上旬から下旬に超低周波地震活動，
5月中旬にも超低周波地震を検出

第１図．2003年６月１日から2019年７月 31日 までの期間にアレイ解析によって検出されたイベントの震央分布．検出イベントを防災科研 Hi-net の手動または自動験測震源と照合し，対応する地震が見出されたイベントを灰色で，それ以外を桃色（2018年４月 30 日以前），および赤色（5月 1 日以降）の点でそれぞれ示す．これらは主として周期 10 秒以上に卓越する超低周波地震を表すが，東北地方太平洋沖地震の発生以降は，除去しきれない通常の地震を含む．期間内に発生した *M* 7 以上の地震（ただし，2011 年 ～ 2015 年の期間は東北地方太平洋沖地震の本震のみ）の震央を黄色星印で示す．



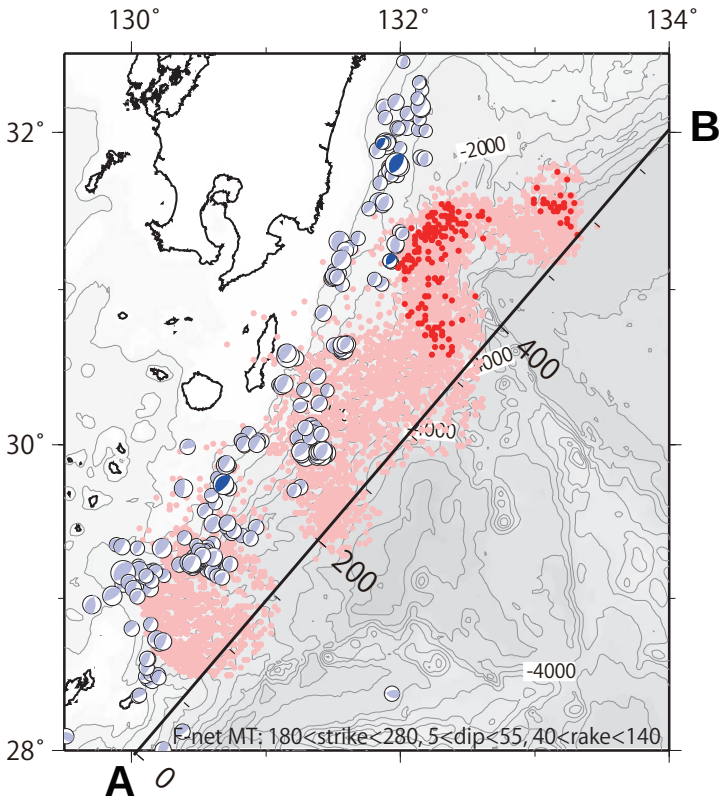
第２図．日向灘および十勝沖における検出イベントの累積カウント数の時間変化．幅 60 秒間の解析時間窓を 15 秒毎に設定し，それぞれの解析時間窓内にイベントが検出される度に１カウントと数えるよう定義した．

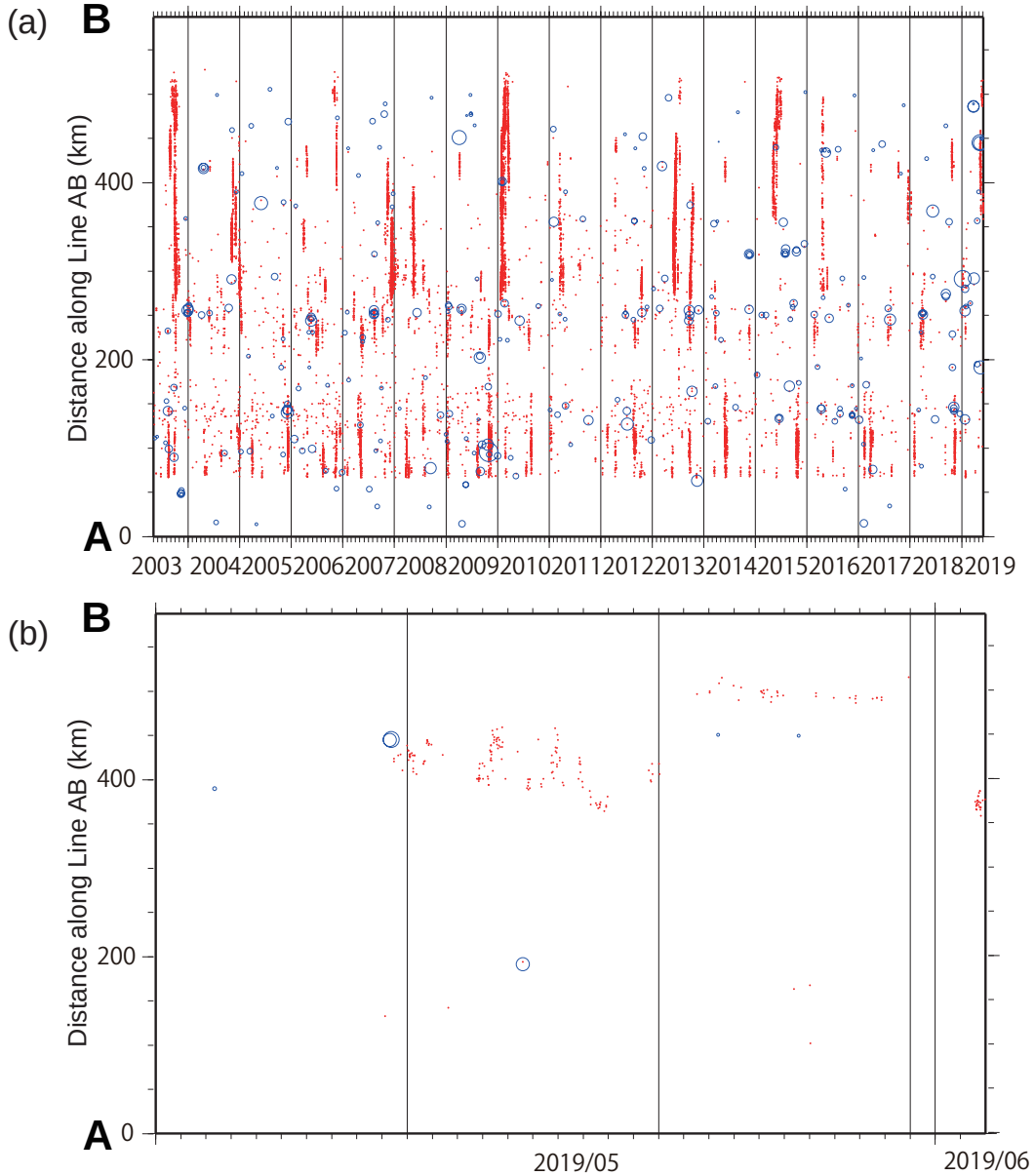


第３図．2003年６月１日から2019年７月 31 日までの期間に検出されたイベントの時空間分布．検出されたイベントを防災科研 Hi-net 手動または自動験測震源と照合し，対応する地震が見出されたイベントを灰色で，それ以外を赤色の点でそれぞれ示す．その他は第１図に同じ．

防災科学技術研究所資料

日向灘およびその周辺域における浅部超低周波地震活動（2019年5月）





第３図．2003 年 5 月 1 日から 2019 年 6 月 2 日までの期間に、防災科研 F-net および臨時観測点（鹿児島大と合同で実施）の記録の波形相関解析によって検出されたイベントの震央分布．検出イベントを防災科研 Hi-net の手動または自動験測震源と照合し，対応する地震が無いイベントを桃色（2019 年 4 月 30 日以前），および赤色（5 月 1 日以降）の点でそれぞれ示す．これらは主として周期 10 秒以上に卓越する超低周波地震を表す．期間内に発生した プレート間地震の防災科研 F-net MT 解を水色（2019 年 4 月 30 日以前），および青色（5 月 1 日以降）で併せて示す．黒実線は第４図の測線ＡＢを表す．

第４図．測線ＡＢに沿ったイベントの時空間分布．（a）2003 年 5 月 1 日から 2019 年 6 月 2 日 までの期間、（b）2019 年 5 月 1 日から 6 月 2 日 までの期間．検出されたイベントを防災科研 Hi-net 手動または自動験測震源と照合し，対応する地震が無いイベントを赤色の点でそれぞれ示す. 青色は第３図に示すプレート間地震を表す.